

## チャリにまつわる、トアールお話

中国へ来て早ふた月経過。太原の冬は相当キビシイと聞いていたのですが、11月に入っても日中は半そでで過ごせる陽気が続いています。

今まで私の所属する中級クラスは留学生12名だったのですが、11月から34名と大幅に増えたため、大きな教室への移動が必要となりました（語学の授業でひとクラス34人はチョイとムリがあります）。新教室は寮からは徒歩20分かかる（感覚としては浦和駅から別所沼公園くらいの距離？もちろん両方とも大学の敷地内です）ため、朝はちょいと忙しくなってきました。週に何度も利用する図書館や一番お気に入りの食堂までもそれぞれ徒歩で20分ほどかかります。毎日往復で歩くのはなかなかキビシイので自転車が欲しいな、と前々から思っていました。

ほぼ毎日利用する学内の食堂ですが、何度も通っていると厨房の方とも顔見知りになります。長引いたコロナの影響か、日本人のみならず、外国人が非常に少ない土地柄のせいか、拙い中国語で注文すると、周囲の視線が一気にこちらに集中するのを感じます。厨房の方も忙しいので約半数の人は面倒くさそうな対応をしますが、半数近くの方は私に興味を持ち、いろいろと質問してきます。幸いにも私は、若者が集う大学の中では極端に年が上なので、2度目に行くと必ず顔を覚えておいてもらえる、という恩恵に預かれます。私にいろいろ質問してくる人は、食堂内の混雑など何のその、自分の聞きたいことは何でも聞くという、自分の欲求が満たされるのを最優先するみたいです。日本人の感覚からすると周囲に申し訳ない気持ちが先に立つのですが、こういう気質は中国人ならではののかな、と思ったりします。私もわざと混雑時を避け、11時頃や13時頃に食事に行くと厨房の方も暇を持って余していることが多いので、会話はますます熱を帯びてきます。「いつ、どこから来た？」「何勉強してるんだ？」「しばらく来なかったな？」「休みの日はどこ行った？」など、幼稚園児レベルのたわいのない会話ですが、私のような外国人にとってはネイティブと直接話し、生きた生の中国語を学べるまたとない機会なので、私はとても大切にしています。こういう場での会話で、授業よりたくさんのことを学んでいる気がします。

西門食堂の厨房で働く A さんは、そんな中で出会った一人でした（後にわかったことですが、

山西大学の食堂で働き始めて6年、小学生の息子がいる元気なお母さんといった感じの方)。渡航当初から、私が食事に行くたびに何かとAさんはいろいろと声をかけてくれました(私の中国語が本当に通じていたかは不明!)。傍から見ると、いつもブスツとしているのですが、私の姿を見つけると、いつも満面の笑みで私を迎えてくれ、他の人よりも1.5倍くらいのご飯もよそってくれます。私もAさんとたくさん話したかったので、10月23日(月)、夕食の混雑がピークを迎える前の夕方5時前頃に、食堂へ行きました。案の定、私の姿を見つけるや、大きな声でしゃべり始めました。いろいろと会話が弾む中で、「何か困っていることはないか?」と聞かれたので、私が「中古でいいから自転車が欲しい。」と伝えると、「明日の午後2時半にここへ来い、私に任せろ!」とVサインを送ってくれました。翌日に予定の10分前に行くと、Aさんはすでに来ており(というより、そこはAさんの職場!)、食堂裏の倉庫のようなところから、自転車を1台出してきました。Aさんが以前に乗っていたもので、ここ半年くらい使われていないものでした。お世辞にも良い自転車とは言えませんでした。きれいに洗車済みであることは一目でわかりました。「修理が必要なので店まで一緒に行こう。」と徒歩10分ほどの学外の自転車店まで連れて行ってもらい、時間はかかりましたが、ようやく乗れる状態になりました。こうして、この生まれ変わった新自転車を私はGETすることができました。中国での売買では必須とされる値段交渉も試みましたが、ネイティブのAさんにかなうはずはありません。結局、100円で交渉は成立。新品や中古自転車の値段の相場も全くわからないため、彼女としては「してやったり!!」と笑いが止まらないのかもしれませんが、私は金額以上に多くのものを得た気がして、満足感でいっぱいでした。日本での話ならAさんに食事のひとつでも御馳走したいところですが、こちらではそうもいきません。せめてものお礼と、Aさんの食堂で食事する回数を増やし、元気な姿をアピールしていくことに決めました。アドレスも交換し、今彼女は私にとって大切な友人のひとりです。Aさんとの付き合いも、この大切な自転車との付き合いも来年の7月まで続きます。今後、どんなストーリーが待ち受けているのか全くわかりませんが、それまでAさんも自転車も大切にしていきたいと思えます。今日も朝から、「こいつ」は少々重たい私を乗せて、元気に走ってくれています。感謝!!!



### ★ある日の食事

- ①朝 (学外) 豆腐のスープみたいなもの (現地では「老豆腐」 揚げパン (現地では「油条」  
ゆでたまご (現地では「煎鸡蛋」) (計7元)  
先月よりワンランク格上げ (ゆでたまごをプラス)。この店も朝の常連で、すっかり顔なじみ。注文しなくても、私の顔を見ると食事が出てきます！
- ②昼 (学内) 「米粉」と呼ばれる山西省特有の麺料理 (おいしくない！というより私にはダメ  
な味でした) (7元) なるべく色々な料理にチャレンジしているので、はずすこ  
とも結構多い。これもまたひとつ勉強！
- ③夜 (学外) お肉たっぷり、ちょっとピリ辛の鍋料理。ごはん、スープ、漬物は食べ放題！  
(15元)  
とてもいいお店を開拓でき、週一で通うリピーターに。この店のご主人とも仲良くなれました！
- ④夜のデザート 虫歯が気になり出したので、当分甘いものはガマンでマンモス。

この日の食事代合計 29元 (1元 ≒ 20円)

①



②



③

